



このたびの石川県能登半島地方を震源とする能登半島地震により亡くなられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された方、そのご家族及び関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のために尽力されている方々に深く敬意を表します。

ここ東海地方でも今後30年以内に70～80%の確率で南海トラフ地震の発生が予想されており、今回の能登半島地震は他人ごとではありません。すでに備えていらっしゃる方も多いかと思いますが、家庭でできる地震対策を簡潔にお伝えしますので、今一度ご確認・参考にしていただけたら幸いです。



地震への備え

大切な家族とわが家を守るために、以下の備えをしておきましょう。

住宅の耐震診断・耐震改修を行い、家の耐震性を確保しましょう。

電気火災を防止するため、感震ブレーカーを設置しましょう。

食料・飲料水などの備蓄をしましょう。

可能な限り1週間分程度、少なくとも3日分程度の食料・飲料水・携帯トイレ等を家族の人数分備蓄しておきましょう。ラジオ・懐中電灯・衣類や、感染症対策として体温計・マスク・消毒液等も準備しておきましょう。



地震で揺れてもケガをしないよう、家具等の固定やガラスの飛散防止フィルムの貼り付け等を行いましょ。



防災訓練に参加しましょう。

地域などで行われる防災訓練に積極的に参加し、いざというときに慌てず対応できるようにしておきましょう。

近くの避難場所や地域の危険箇所、勤務先近くの避難場所も確認し、地震が発生したときをイメージして安全に避難できる経路を考えておけるといいですね。



県市町村ではこんな補助をしています。お住まいの地域の行政にお問い合わせみてください。

- 木造住宅の無料耐震診断
- 木造住宅耐震改修助成
- 感震ブレーカーの設置助成
- 段階的耐震改修・木造住宅耐震シェルター整備費補助

[引き続き裏面をご覧ください⇒](#)



